

令和 4 年 4 月 8 日 議会改革特別委員会 議事録
9 時 59 分 開会

○出席委員 (8 人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 西村 一啓

委員 藤川 和弘、原田 孝徳、小中真樹雄、小田上尚典、北地 範久、
日域 究

議長 賀屋 幸治

○欠席委員 なし

○網谷委員長 皆さん、おはようございます。

定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

早速、日程第 1 に入らせていただきたいと思います。

お願いでございますが、修正確認でございますので、修正を指摘される方がおられましたら、具体的に、こうこう思うんじゃがとか、文言を入れていただいたらその場で修正できるのではないかと思います。その場で指摘、文言ができなければ仕方ないですが、なるべくならそういう方向でやっていただければと思います。

早速、修正、確認等行きたいところですが、2カ所ですか。中国 5 県人口 2 万から 5 万人の面積人口と議員定数の資料でございますが、こちらのほうは前回の委員会で修正はなかったように思いますが、皆さんそれでよろしいでしょうか。それと、小田上委員の特別委員会 2 年間の取組でございますが、こちらのほうも、修正されておりますので、よろしいですね。ということで、この 2 点はもう確認いたしません。

どうぞ。

○北地委員 ちょっと細かいところなんですけども…。

○網谷委員長 どちらのほうです。

○北地委員 2 年間の取組のほうです。

○網谷委員長 はいはい。

○北地委員 青い丸と黄色い丸がありますよね。その中間ところに、令和 2 年 9 月から試行というんが書いてあるんですけども、これもうちちょっと上に上げて、黄色い部分のがそうなので、これダブっとるんで、両方がそうなんかなというような誤解を受けるんかなと。もうちょっと上に上げて、黄色の中に、枠組み入れたほうがええんかなと思いますけれども。

○網谷委員長 小田上委員、原田委員の担当でしたよね、これ。よろしいですか、それで。

(発言する者あり)

○網谷委員長 それでは製作者のほうで納得されましたので、2 年間の取組と先ほどの小田委員、藤川委員の作成の人口・議員定数の件の資料は、この 2 点はもう確認とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、読み原のほうですが、原田委員と小田上委員、それで日域委員も一緒に考え

ていただいたということなんで、大幅に文章を作ってくださいましたので、こちらのほうの何か、修正といいますか、何かありましたら、お願いします。

ないようでしたら…。

○賀屋議長 すみません、ありがとうございます。中ほどの、こうした状況を受けということ、委員が前期2年間8名、後期2年間8名のそれぞれ8名の議員によるという、8名というのは3つ出るんで、前期2年間、後期2年間、でそれぞれ8名というんで分かると思うんで、そこをちょっと直したほうがいいかなと。それと、一番下から3行目の、協議のから始まったものです、のは要らないのかなと。

○網谷委員長 協議のからは、のがなし。

○賀屋議長 のが、協議から始まったものです、か、協議の中から、中を入れるのか、のをのけるのか、どちらかではないかなと思います。

以上です。

○網谷委員長 以上ですね。原田委員。

そのほうに修正よろしく願いいたします。

小田上委員、よろしいでしょうか。そういうことで、よろしく願いいたします。

原田委員。

○原田委員 私は、原版を作っとしてあれなんですけど、この小田上委員が作っていただいて2年間の取組、中国5県の人口の表、それから、日域委員に作っていただいた定数の過去の経緯というのは、これは全部このまま書いたんですけど、資料に番号とか振って、資料1とか資料2とか、そうすると、これをだらだらと読まなくて済むのかなと思うんですけど。最初はそれを説明するとしても、途中も何かそういうのがあったと思うので、それ、1とか2とか番号振るのか振らないのか、もしそれが振るのであれば、そこをちょっとまた修正できるんですけど、その辺教えていただけますでしょうか。

○網谷委員長 あれは報告会のほうで、どうですか。局長、その辺のところは資料に、資料1とか資料2とかは打ったりするとかいうのはどうなんですか。

局長。

○三上議会事務局長 資料を通し番号を打つのは可能です。ただデータが、うちのほうで編集可能なデータであればうちのほうでできますが、できないような様式であればちょっと委員さんをお願いするようになるかと思います。

○網谷委員長 それのところ原田委員、調整できます、直に。文章の関係も出てくるんでしようから。

原田委員。

○原田委員 要はその、1とか2とか3とか、分かりません、何か記号なのか分かりませんが、それができるかできないかが分かりさえすれば、そこをその数字とか何なりに変えるだけですので。できないということであればもうこのままにさせていただきたいと思います。

○網谷委員長 今できると言われたと思うんですけど。

○原田委員 できるのであれば、じゃあそうしていただいて。

○網谷委員長 その辺のところは、ですから局長とちょっと打ち合わせしていただいたら。

○原田委員 そうですね。分かりました。

○網谷委員長 よろしく願います。

○原田委員 分かりました。

○網谷委員長 願います。そのほかございませんか。

全体的な読み原稿のほうはこれでよろしいかと思しますので、よろしいですか、皆さん。
それでは確認が取れたということで、原田さん、よろしくお願いします。

次に、日域議員、北地議員の制作でございますが、議員定数についての過去の経緯からという読み原になっとるんですが、こちらのほう皆さん、どうでしょうか。

日域委員。

○日域委員 これ、市政のあらましからの引用ですよ。この中に間違いだらけなんですけど、これどうしますか。例えばこの赤い丸ずらっとありますけど。

○網谷委員長 資料のほうですか。読み原のほう今言ってるんです。

○日域委員 赤い丸の1番目と2番目の間がありますよね。そこに右、何書いてあるかといったら、54年8月5日と書いてあるんですけども、昭和45年6月ポスター掲示場設置に関する条例により施行と書いてありますけど、昭和45年に条例つくってですよ、昭和54年に施行することなんてあり得ませんよね。だからこれ単純にミスですね。それから、この変更したときに全部議員定数、この赤丸の右側ですよ。何回もありますけども。定数減少に関する条例により何月何日施行と書いてあります。

○網谷委員長 昭和50年5月1日。

○日域委員 全部同じに書いてあるんですけど、これ違うんです、後半は。要するに、昔は法定数、法定で、人口5万人以下の市は30人と決めてあったんです。それを変えたかったら、別途条例をつくって下げるのはオーケーと。だから、最初の頃は法定数がばんと決まっと思って、それを下げる条例をつくったんです。その次から、その下げる条例の数字を変更していったわけです。そのうち法定数がなくなったんです。そしたら議員定数を決める条例ができたんです。これは平成十何年かな。それから先は、その定数を決める条例を改正してきたわけです。でもこの書き方は、それ分かってない人が書いてるんです。古いやり方でずっと最後までやったって書いてありますから。これは大うそなんです。そういうことも含めてこれ直せと私は事務局に言ったんですけども、あれどうになりましたか。

この市政のあらましをつくったのは大竹市議会ですよ。

○網谷委員長 局長。

○三上議会事務局長 来年の編集をする際に修正をしようかなというところで、今事務局のほうでは考えております。

○網谷委員長 来年です。来年では間に合いませんよね、これ。

日域委員。

○日域委員 本を作り替えるのは、それはまあまた急にはできませんけど。でもこの内容も間違ってたものは、これはまあ別にここに、市政のあらましから引用せないけんという決まりはないわけですから、この形でいいですけども、間違ったところは直したらいいよ

ねって。で、やっぱり市民に報告するからには、その裏づけですよ。自分たちがちゃんと理解してチェックしておかないと、いいかげんなことを言ったんじゃ駄目ですから。ぜひそれ、したいと思います。

○網谷委員長 それで、提案としましたら、こちらの文言はもうなしにして、こちらの表だけ、議員定数いうだけで、できませんか。

○日域委員 それともう1個は、いいですよ、大体がまあ財政的な問題があったり、特に平成の10年代なんて、毎回毎回減してますけど、ほんで一番最初は、オイルショックのときに下げてますよね。それで、一番特異なのはこの昭和58年なんです。6月に条例改正して、7月にもう選挙ですから。8月に投票ですよ。直前になって決めたって、不自然じゃないですか、どう考えても。そのときの議事録をこの前事務局で見たんですけども、6月議会の直前に、広島コープの理事長が議員辞職してるんです。その直後にあそこは破産したんですけども、かなりのニュースだったわけです。あの人が辞めて即議員定数2減にしたんですけども、あの人が辞めて1減すんならまだ分かるんですけども、2減してるんです。広島コープの最後の登記簿謄本を見ると、もう一人議員がいるんです、理事の中に。新田さんは辞職したんですけども、もう一人の人は元議員であるのは確かなんです。けどそのとき議員だったのか、いつまでやったのか、分からないんですけども、辞職まではしてないけども、次の選挙出んかったかもしれませんけども。あの広島コープの倒産というのは、大竹市の社会にとっては大きなニュースでしたから、それに絡んでるんやったら、通常の議員定数とまた違いますよね。そこはやっぱり知っとくべきかなと思ひまして、まだ調べ中みたいなのともあるんですけども。

○網谷委員長 小中委員。

○小中委員 私はこの読み原稿には承服できません。今、日域委員が詳細に何か言ってましたけど、ここの2番目の一番最後のところで、しかし、選挙直前の6月議会での定数削減であること。広島コープの理事長であった市議会議員がその6月議会の直前に議員辞職していることなども何か関係がありそうです。根拠がないのに、100%の根拠がないのにこういう、何ていうんですか、その名誉毀損に当たるようなことを書くべきではない。もしか出すんやったら、私はここは絶対削除するべきだと思います。これはもう世間の常識です。

○網谷委員長 日域委員。

○日域委員 このとおり読んだらまずいかもしれませんね。ただ、この議案の審議の中で、そういうことが議事録にちゃんと載ってるわけ、公式発言として。だから、ここで言うかどうかはさて置いて、そこは知っておかないと、何かのときにはそういう話は知ってますよというぐらい言えないとまずいかなと。ほかの場面とはちょっと、背景が違うよねということを私は言いたかっただけで、今おっしゃったこと、小中さんのおっしゃることはそうかもしれません。

○網谷委員長 ありがとうございます。

○日域委員 先に言ってしまうと、ちょっと問題でしょうね。

○網谷委員長 なかなかこれ難しい問題なので。せっかく調べていただいたのに申し訳ない

んですが、議会報告会の中でここまで詳しい、説明文が要るのかなというのはちょっと疑問には思うんですが。その辺のところで私が最初に、箇条書ぐらいにしとこうと思ったんだけどかなり、日域委員の性格上、きちょうめんに書いていただいたんですが、今小中委員の言われるような意見もあるようなことですし、かなり絞って文章にさせていただいてるんですが、今の全体の文章を読みましても大変、今のようない意見が出ますと、どうですか。

日域委員。

○日域委員 ごめんなさい、あれ、私、完成品と思ってないもの出しちゃまずいんかかもしれませんが、まだまだ角を取って無難な文章にしていきたいと思います。あれでやるって意地張ってるわけじゃないです。皆さんに知っておいてほしいねということです。それだけです。

○網谷委員長 小中委員。

○小中委員 私が言いたいのは、一般市民の方に根拠のない情報を流したら、いわゆる議会の品位に関わるという面も当然ありますし、もうこの読み原稿なんか要らんで、数字だけで出せばいいんじゃないかと私は思います。議員にとって資料としては必要かも分らないけど、そこまでその危険な文章を、議会報告会の中で出す必要は私は全くないと思います。それに、私言わせてもらって言えば、その定数削減の問題が出てきたのは無投票になって、ほんで次も無投票になったらどうなるのかと。過去のとは、要するに事情が全く違うんで。そんな過去のことを詳細に知る必要がどこにあるのかと。私はそのように思います。

○網谷委員長 どうもありがとうございます。

小田上委員。

○小田上委員 大筋は小中委員の言われたとおりかなというふうに思ってます。

この読み原となってるんですけど、全体の通しの読み原はまあ原田委員が修正されて、僕もちょっと加わりましたけど、ざっくり読み解けば、全部財政難かなと。財政難で減ってきたというところ。あと3回目、4回目のところは自治会連合会からの要望、陳情というのはありますけど、そこ、財政難とそこ加えるくらいで、この2ページ目の表があるじゃないですか。これを読み上げるとかどうこうはなしで。小中委員言われたとおり、今まで議員を減らしてきた経緯と今回定数がこう議題に上がっている経緯というのは全く違いますというところは、市民の方にそこは種類が違うよというのは知っておいていただきたいとは思いますが、個人的には。なので、この情報ここまで詳しくというのは難しいかなと思うんですけど、性質が違うよというところ。なので、箇条書で財政難、財政難というのがあれば、今回の議題の上がり方と、以前の議題の上がり方違うんだねというのが分かればいいのかなと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

○日域委員 私、小中さんのおっしゃることもそうだと思うし、小田上さんのおっしゃることもそうだと思います。ただ、私は過去のことを調べろという役を仰せつかったからちゃんと調べただけの話で、私も知らなかったこともあれば、逆に記憶が呼び覚まされた部分もありますけども、これを言うか言わないか、そら確かに今回意味合いが違いますから。こ

れ、割ってみたら分かるんですけど、幾ら昔大竹人口多かったというても、多くても3万八千、九千でしょ。その頃30人いたわけですから、今半分になっても16人だったら、あれですね。だから、人口比とかでいえば、今の議員定数全然多過ぎはしません。だから減すというときに、過去のことを調べてもあんまり関係ないなとこれ見て思いましたけど、要は今小中さんがおっしゃったみたいに、無投票じゃ始まらんじゃんという、そこですか。そういう意味じゃ、さっと触れたらいいんじゃないかもしれません。

○網谷委員長 ですね。ありがとうございました。

北地委員、よろしいです。一応。お2人で作られたんで。よろしいですか。

ということで、今小中委員、今小田上委員が指摘されました、指摘というのなんですが、かなり骨を折って調べていただいとるのに恐縮なんです。ただ、先ほど小田上委員がちょっと触れられましたように、この表がありますよね、文言の代わりに箇条書程度で、入れていただいたらどうなんかなと思うんですが、どうでしょうか。

ですが、そのうち一応修正という意味で。でしたら読み原も要らんようになりますよね。ほんで、こちらのほうに1枚に箇条書やっただいて、資料としていただくということで、よろしいですか。

北地委員。

○北地委員 休憩を求めます。

○網谷委員長 暫時休憩いたします。

10時23分 休憩

10時29分 再開

○網谷委員長 それでは、休憩前に引き続き会議に入らせていただきます。

北地委員。

○北地委員 すみません、時間取らせました。

私が、日域委員の原稿を参考にしてちょっとまとめたもんがたまたまありましたんで、これでいかがだろうかということで、ちょっと提案させてもらいたいんですけども、今お配りしたプリントがありますけども、この摘要欄の右側のやつ、あれを今、間違いがあるということなんかがあったりしたもので、それは全部消すということで、そん中の、補欠選挙とか繰り上げ当選があるんですが、とあと無投票ですね、一番下の。当時の状況いう中入れて、それでまとめたらどうかという提案をさせていただいたらと思うんですけども、いかがでしょうか。

○網谷委員長 ありがとうございます。

日域委員、よろしいですか。

ということは、ほかの委員さんどうでしょうか。

皆さん、賛成ということで、一応確認させていただいておるということで、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

ということで、以上3点、いや4点ですか、読み原を入れまして、全部確認されましたので、ありがとうございました。

それじゃあこの辺のところは…。

原田委員。

○原田委員 この資料のタイトルは、この上の、市会議員の選挙と定数でよろしいですか。

大竹も要らなくて、市議会議員でよろしいですか。

○網谷委員長 議が要るんですよね。議。

○原田委員 市議会議員の選挙と定数という資料ということで、よろしいですか。

○網谷委員長 議を入れるんだね。議をね。

〔「大竹も」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 ついでに大竹も入れます。

○原田委員 大竹、じゃあ大竹市議会議員選挙。

○網谷委員長 大竹市議会議員選挙と定数だね。

○原田委員 それで読み原変えときます。

○網谷委員長 よろしくお願いします。

以上これで…。

議長、あります。

○賀屋議長 すみません、ちょっと申し遅れました。

小中委員の資料の表があるんですが、その一番上に大竹市が書いてありますけども、この大竹市の部分だけ、赤枠か何か、すぐ大竹市とわかるようなのを。できますかね。

○網谷委員長 藤川委員。

○藤川委員 御指示ありましたら、それは可能です。できます。

○網谷委員長 以上、可能ということで。以上4件は確認されとってということでよろしいですか。

それでは、資料のほうはこれで終わりたいと思います。

それから、日程第2のその他のほうに入らせていただきますがよろしいでしょうか。

その他のほうで何かありましたら、

小中委員。

○小中委員 もう議会報告会は議会報告会でいいんですけど、このその他というか、もうそろそろロードマップ、次は何をやるかというのを決めとかないたと思いますんで、それをやっていただければと思います。

○網谷委員長 その次を何かということ、今までも、もう9月という、押し迫ってきましたんでいろいろな議論をしなければならないと思います。今までの議論の中で半年ちょっとで、今は議会報告会にかなりの時間を費やしてとるんですが、いろいろな議論の中で、よく何も進んではないのではないかという言葉聞くようなことがございますので、それで、私の進行方向が悪いのかとも思いますのですが、私自身も皆さんの、何を思っておられるか、どうしようかと思ったりということが、よく分かりませんので、自分なりに今までやってきたんですが、そういう中でこの、その他の中で、これからの今、小中委員が言われましたように、進行方向ですか、いろいろな、これから何に対して協議をするのか、審議をするのか、その辺のところを逆に、こういうことを皆さんに聞いてはいけないのですが

ね。指摘していただければ、それに向かって皆さんと一緒に審議をされまして、じゃあそれでいこうというふうな方向になろうかと思えますんで。ただ漠然と何をするのかと言われましても、ちょっと私自身、時々副委員長と話をするんですが、あんまり具体的なこう提示ができないということになっておりますので、できれば、こういうふうな協議をしましょう、こういうことを研究しましょう、こういうことを調べましょうというふうに、皆さん方から意見が出していただければスムーズにいくのではないかというふうに思いますが、いかがでしょうか。もう今4月、今月は議会報告会もございますので、いろんな協議を進めていかなければならないのは重々分かっておるんですが、ただ、問題提起そのものが成り手不足と議員定数についてという、これ、皆さんの一致で特化した、問題提起にしておりますんで、いろんなことをも要素として入ろうかと思えますが、最初の基本は無投票というところがございますので、無投票からの出発で、令和元年からいろんな方向で今までやってまいったところがございますが、去年9月からは、本当に議員定数については、特化した問題に皆さんと一緒に、それでいきましょうということになりましたので、その辺のことについていろいろな協議をこれからしていかなければならないと私も重々思っておりますが、具体論が私のまだ頭の中で整理されておられませんので、そのところを皆さんも、具体的に言っていただければ、協議の仕方の方向性が分かってくるのではないかと思いますので、そのところを気がついたら教えていただければと思います。

副委員長何かあれば。

副委員長。

○西村副委員長 委員の皆様いろいろな御意見いただきましてありがとうございます。

今もお聞きのとおり、委員長非常に困って堂々巡りが多いんですが、期限は、今年の12月の議会の中でも言われたと思うんですが、今年の9月までにある程度議会改革委員会の方向性を出すということを決めておりますので、このたび、皆さんのおかげで各自治会に出向いて3カ所で議会報告会させてもらいました。まず正副委員長で話をして、皆さんにお願いしたいのは、それぞれが現場でそれぞれの思いがあると思いますが、一応議会改革委員会としては、先ほどからいろいろ出てきております、小中さん、日域さん言われたもあるんですが、要するに、このたびは議員16名で議会内のアンケートなんです。いかにも全体のアンケートのように捉えられても困るんで、その点を重々頭に入れて、皆さん方に質問されたときにそういうお答えをしてもらいたいし、それから、入り組んだ質問が出ると思います、それぞれの地域から。だけど、議会改革としては、1つだけ言えることは、議会改革の委員会で皆さんにアンケートを取りました。結果は、そこの中にありますように、3、6、7という数字がもう出とるんですわ。あくまでもこれはデータですので、それに基づいて、9月に向けてさらにスピードを上げて審議をしていきますというのが本来の姿だと思います。結論が出たわけではないので、それは言い換えれば、議会の改革の中で定数削減、いかにも定数削減が先にいったような話は私はするべきもんじゃないと。そうかといって逆に、定数は現状維持という声もあるわけです。ほいじゃあ残りの7名は何だったんかということが、私自体は、委員長にも再三お願いしとるんですが、アンケートの中身を改めてこの委員会で、皆さんで審議したいと、それが1つあります。もう一つは、も

う来週に迫ってますので、今日せつかく委員長がその他いう項目を上げてくれますので、それぞれの3会場で、議会改革の考え方はこうなんだという御意見があればお聞きしたいと思います。それが皆さんの思いになると思います。自由だから何を言ってもええんだというわけじゃないと思うんです、決まってないんですから。そこのところを改めて委員の皆さんにお願いしたい思います。

以上であります。

○網谷委員長 ありがとうございます。

日域委員。

○日域委員 要は、議員定数に向かっではいますけど、基本的には、無投票ですよ。やっぱり無投票というのはそら、面白くないですよ、俗っぽく言うてもですよ。そこを何とかしたいわけで、できることっちゃあそら定数減すことしかないんでしょうけども、自ら減すって、なかなか難しいじゃないですか。それは、定数を減せばなりにくなるわけですから、前回みたいに全員当選というハッピーエンドはないわけですから。だから、すごく難しくて、ほんで、今から減すって流れがあるのであれば、それは手続を踏めばすぐできますけども、方向性自体がまだ混沌としとるわけですから。だから委員長が困られるのも分かります。そう簡単にこういうものを委員長の指導力でどっちかに引っ張っていくって無理ですから。再来週、議会報告会があるんですけども、ある意味ではああいうところに大人数来られるとは思いませんけども、やっぱり一般的な平均点よりかは市政に関心のある方が大体来られるんだと思うんです。それで、例えばそういう人がいろんなことを言うでしょうけども、例えば頭に浮かぶのが、要するに議員が定数を減さずに、自分たちが楽に議員を続けようと思うとすると、お前らけしからんという立ち位置からの発言もあるかなとは思っています。そのときに、じゃあ皆さん同じように被選挙権持つとるんやけど、そんな議員やって楽しんでお前ら金もらえと言うんやったら、もっと皆さん参加するはずですよって、そこんところが不思議なんだけど、もうちょっと自ら手を挙げて選挙出てくださいよって、どの辺がハードルになってるんですかねっていう問いかけも可能であれば私はしたいと思っています。自分たちは出んとしてお前らけしからんと言うて、民主主義の原則には反してますから。それこそ昔みたいに税金払わんやつは被選挙権ないとか選挙権がないとかそんなことなくて、もうみんな、住民でありさえすれば同じですから。だからそのところの理解があれば、議会の批判をするんだったら、じゃあわしがいつちよう選挙出て議会変えろうと思やいいわけですから。だからその辺をちょっと、せつかく来た人には声かけてみたいという気はします。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。今、日域委員が議会報告会のことを想定して発言されたと思いますが、今回議長が提案をしていただきまして、なるべくそこら辺もタイトルの中に入りますので。これが入りますと議員側から、今、日域委員が言われたような質問も、逆質問もできるのではないかというふうに私自身も思います。というようなことで、議員の皆様方お1人お1人がそのような覚悟を持ってある程度は挑まれるのも結構かと思っています。日頃こういう問題を議員のほうから投げかけるいうのもあまりない場面で

はあるんですが、ちょっとぐらいはあってもいいのかなと私自身は思っております。これはこの後、議会報告会の班長会議がございますので、そのところでまた発言していただければと思いますが、先ほど小中委員から言われましたように、9月に向けて、ある程度時間がたってまいりましたので、ちょっと掘り下げた議論をしなければならんのかなというふうなことを思いまして皆様に意見を募ったところでございますが、今副委員長のほうから、せつかくこの議員16人のアンケート調査を取ったので、その細かい分析をちょっとしたらどうかなという提案もございますので、次の会からはそのような方向でやっていこうと思いますが。

議長。

○賀屋議長 すみません、私のほうから。今言われたその16名のアンケートの中身の精査についてもしっかり必要なことだと思いますけども、今回、議会報告会の中でこのテーマについて市民の皆さんの意見をいただくわけなんで、その意見の集約とその分析、それとどういうふうにしてそれをこの委員会の中で中身を詰めていくのかということがやはり、この議会報告会をやった意味がそこに出てくるんだろうというふうに思うんで、まずは集約と分析を委員会のほうで、1つのテーマとしてやっていただければいいんじゃないかなというふうに思います。そうすればおのずから次にどういうことをしないといけないというのは方向性は出てくるんじゃないかなというふうに思います。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。大変大きな行事でございます議会報告会を行いますので、集約、またいろいろな反省点、いろんな発言が出ようと思います。その中で、我々議員として、これからの9月に向けて、いろんな議論が交わしていければと思います。これ、全部議長が言われたことも含めまして、議論を次回からはしていきたいと思います。

原田委員。

○原田委員 具体的な話じゃなくて申し訳ないんですけど、議長のおっしゃるとおり、まずアンケートを皆さんでこれ集約して、それ議論すると。副委員長のほうから以前、現状維持なのか削減なのか、削減にしても、一応1するのか2にするのかとか、そういう具体的なその態度表明をするべきだという話があったような気がします。ですから、9月に結論を出すでしょうけれども、それまでに、先ほどのロードマップの話でいうと、調査研究いろいろお考えになられてる方いらっしゃると思うんですけど、その方に、結論というか、どういうお考えなのかというのを出してもらわないと。仮に現状維持であるとするならば、特にこの審議の過程というのは非常に大事だと思いますので、ある程度皆さんがどういう、削減なのか、現状維持なのかということがはっきりしていかないと、詰めていくのは難しいのではないかなと思います。具体的なことじゃないんですけど、流れとしてはそういうふうな流れでやっていくべきなのではないかなというふうに私は考えております。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。今原田委員が具体論を、いつ頃からやるのかというふうな意味合いですよね、早い話。一応私がこれ12月の委員会で、本当にぎっくりのスケジュール表を作ったと思うんですが、今4月ですから、これ5月から無投票回避するため

の打開策、それを5、6月でやって、7月から結論、9月に向けて決定するというふうな流れにしとるんですが、それ今副委員長も言われましたとおり、この前のアンケートの細かいところ、そのほうの議論をしながら、いろんな問題が出てきます、ですから、2時間じゃ足らんかも分かりません。ということで、特に副委員長が言われましたように、週に一遍でもええからというような感じになろうかとも思いますが、それも含めて、皆さんと一緒にしっかり議論をしていきたいと思っております。今回は、報告会の反省だけだとかいうふうじゃなしに、いろんな方がいろんな考えを持っておられると思いますので、今回はこれだけのテーマだからというふうにいけばいいんですが、なかなかそれで関連した用件が出てくるかと思っておりますので、それを含めてしっかり、これから身の入った協議と同時に具体的なスケジュールも含めて協議していけたらなと私、思っておりますが。その後まだございましたら。

小田上委員。

○小田上委員 委員長が言われましたスケジュールですよ、昨年つくっていただいた。ここを、議会報告会入ってないので、これに。大幅にずれてるところなので、見直しが必要だろうということを委員長言っていたと思います。その見直しをして、議員からのアンケートというものがまだ活用し切れてないところをしっかりと、1項目ずつ潰していくと。態度、討論なんですかね、ディベートとかやるときは立場を明らかにしてなんですけど、この改革の中でも恐らくまだ決まってない、どっちなのか何なのかが決まってないという委員もいると思います。それを見つけていくための、委員同士での問かけ合いというか、これはどう思うとか、というの、自分はこう思うけどどうだろうかとかというやり取りが今後できればいいなと思います。このスケジュール表見直していただいて細かく具体的にやっていただけたらと思うのと、先ほど議長が言われた、アンケートの集約ですよ、アンケートの集約という作業は、通常だと班長会が、班長会議のほうでアンケート集約してとか、いただいた意見に関しては常任とか委員会とかに振ってたんじゃないかなと思います。ただ、であれば最後のアンケート、あれだけじゃなくて、あれをもう載せずに、改革の報告事項の中でそれぞれ委員が会場にいますんで、ちゃんとこれは聞いてこようという項目をうちで上げとけば、そっちのほうを検証しやすいんじゃないかなとは思いますが。議会報告会のアンケートの中の何番目かは覚えてないですけど、議員定数についてあったと思います。そこはのけてしまっちゃん聞いてくると。これを意見交換の間に聞きましょうというふうにしたほうが、議長の言われた意見集約はしやすいんじゃないかなと今思いました。

○網谷委員長 ありがとうございます。確かに各班の報告書はもうかなり先になろうかと思えます。正式な議会報告会の報告書ですか、それは。ただ、今小田上委員が言われましたように各3班がうまいことこう3人、3人、2人ですか、分かれておりますので、しっかり市民との対話と申しますか、意見をしっかりと聞いていただきまして、もちろんそれもこれからの我々の改革委員会の中でも、取り上げるようになろうかと思っておりますので、その辺も含めていろんな問題が絡んでくると思っておりますので、できれば今日はこれ、今回はこれ、というふうにいけばいいんですが、予想ではいろんな意見が飛び交おうかと思っておりますので、

その中でやっぱり審議していただけたらと思います。

よろしいでしょうか。

日域委員。

○**日域委員** 会場でアンケートを一応取りますよね。そこにあったのは覚えてますけども、そういうんじゃないくて、それをやめて、会場で、リアルに聞こうということで、皆さん今回こういうのがね、メインテーマにあるんやけど、どう思いますかって。もちろんその前段で状況説明しとかなないと、情報が偏っててもいけないですから。それを参加者であって、それはまあ録音がありますから、しゃべった文言はちゃんと残ると思いますけども。なかなか、じゃあ責任重大というか、ものの振りようによってはかなりかもしれんけども。それをやろうっちゅうことですな。

○**網谷委員長** お願いします。

小田上委員。

○**小田上委員** なので、議会改革を、報告会までに何度かあると思います。その中で、この項目をちゃんと聞いてこようという項目はちゃんと出して、各委員が分かっている、これは聞こうという流れにしておくほうが、会場によってばらつきを抑えられるんじゃないかなと思います。なので、これ聞きましょうねという作業は、班長会議の結果を受けてなのかもしれないですけど、ただ、議会報告会のアンケートからはのけるけども、あれは報告会自体に必要なものだと思います。その部分じゃなくて、定数とか成り手の問題だけはどうちで取りましょうという、箇条書で項目設定は委員会でおいたほうがいいんじゃないかなと思います。

○**網谷委員長** ありがとうございます。これ、今質問事項決めとこうということですか。

(発言する者あり)

○**網谷委員長** 原田委員。

○**原田委員** 削るんですよ。だから、今のある項目をなくして、何か違うものを入れるんか、入れんのか、このままでいくのか分かりませんが、今の小田上委員の意見に反応するわけじゃないんですけど、発言して下さる方もいらっしゃるし、発言して下さらない方もいらっしゃると思うので、発言して下さらない方の意見というのを、取り込めないといけないかなと思うんですが、それはだから…。全く削るということじゃないんですよ、そのアンケートの内容から。

○**網谷委員長** 小田上委員。

○**小田上委員** 甚だここで話すべき話ではないんだろうなと思うんですが、班長会議すべきだろうと思うんですけど、僕が出してしまったので。先ほど原田委員が言われた、思ってるけど発言しないという方もおられると思うんですけど、報告会全体についてのアンケートは行います。というのはアンケート取ることになってますからそれはされて、備考欄というか、その他の欄に書いていただくのか、この意見交換の感想みたいなものは書いてもらう欄はあっていいと思うんです。

なので、そこはあってもいいですけど、個別具体の聞いておきたいことというのは、その場で議員と市民の方、やり取りしたほうがいいんじゃないかなと。集約するためにです

よ。ただ書かれているだけでそれで集約というよりも、これをちゃんと聞いてきましょうというのを決めて、集約して生かしていくためには、意見交換の中でしっかりもらったほうがいいんじゃないのかなと思うので、個別具体はアンケートからのけたとして、最後備考欄じゃないですけど、これ意見交換についての中身、成り手不足についての中身の意見をくださいくらいにとどめるというところで補えるんじゃないのかなと勝手に思っていました。すみません。

○網谷委員長 要するに、委員の皆さん8名の方が、当日どういう項目についての質問をするかという、質問内容を決めておきたいということですよね。

日域委員。

○日域委員 確かに原田委員のいわれるように発言しない人もいるかもしれない。だからそこはこっちが踏み込んでいくしかないんですけども。無投票を避けるために議員定数を削減したほうがいいと思う人は手挙げてくださいとか、分からないという人があったら皆さん分からないと逃げるんですけども、NHKなんかの何ちゅうかな、あるじゃないですか、あの政治がらみのアンケートがね。だから支持する支持しないの間に、どちらかといえば支持する、どちらかといえば支持しないというのあるけども、真ん中はないんです。真ん中って楽ですから。真ん中置いたらみんな真ん中ぼって置くわけですよ。で、結局はどちらかというのを含めて、支持か不支持かって数字出してますけども、まあ積極的じゃないけども、まあそうよね、それしかないよねという人も、賛成に、やめたほうがいいよね、よう分からんけどねっちゅうものは反対に取るとか。いや、そうしないと、紙もないし、そこで発言した人だけしか分からないんだったらできませんよ、把握はね。そんなの言うたら嫌がるかもしれませんよ。アンケートで自由記述の中で、なんやあのやり方はって書かれるかもしれませんけども、皆さんから聞こうと思えばちょっと準備しとかなないと難しいかなという気はします。

○網谷委員長 今小田上委員が言われた言葉と原田委員が言われたこと、私の理解がなっていないのかと思いますけど、原田委員は、発言されない方の意見も聞きたいという意味のことですね。

原田委員。

○原田委員 今の報告会のアンケートの様式はあれでいいと思います。で、先ほど個別に聞きたいことを事前に私らが持ってて、それをやりとりするのはいいと思います。5時間も6時間もしゃべれるんでしたら皆さんの本音とかいろんな意見が聞けるかも分かりませんが、時間の制約がありますから、こちら側は聞きたいことを聞いて、それに対して回答していただいて、それで私たちがメモを取って、ここで皆さんでそれぞれ発表し合っというやり方じゃないかと思うんですけど、それ以外にもいろんなお考えの方いらっしゃいますので、皆さんのその声を全て拾うということは、難しいかなと思うから、改革として聞きたいことは聞きたいことで準備しておいて、それをその議会報告会の中で聞いて、ここで皆さんで、その聞いたことをそれぞれが発表して議論すると。アンケートはそのままですからもうこのまま置いといてもらって、で、議会改革として聞きたいこと何点か準備しといて、それを当日議論しましたと。で、それについては、皆さんがそれぞれこの議

会改革かその議会報告会が終わった後に議論すればいいと。だからその拾い切れなかった分に関しては、アンケートのほうでまた別に拾ったらいんじゃないかという意見です。

○網谷委員長 要するに皆さん、委員の皆さんがしっかり聞いて、しっかり書き留めておいてくれみたいなことになるんですか。

それから、小田上委員の言われとることは質問事項ね、大体の質問事項を決めてくださいという意味のこと。皆さん各会場でそれを統一していただいたらという意味のことですね。これ、今じゃ無理ですよ、今回ではね。二、三十分じゃあ統一できませんか、質問事項。

〔「上げろというなら上げられます」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 はいじゃあもう1回、報告会までに委員会開きませんか。

小田上委員。

○小田上委員 委員会開いて、中身の議論とか、スケジュール修正いただいたものまで話ができるということであれば委員会を開けばいいと思います。ただ質問項目、箇条書でどうだろうかというところは、例えば、委員長に委員が意見として提出して、その中から委員長と副委員長で抽出されてこれでどうだろうかという、委員に対しての提案で、開催しなくても済む可能性のやり方もあるかなとは思いました。どちらにされるか、委員長の判断だとは思いますが。

○網谷委員長 ある程度皆さんから、こういう質問がしたらどうなんのかということメールでも入れていただきまして、私と副委員長、議長ぐらいで選別するというのであれば、委員会は別に開かなくてもと思うんです。

ただ、意見調整するだけで集まるというのもどうなんかなと思いますんですが。次回の開催日時にも関わってきますので、皆さん決めていただいたらと思うんですが。私は今、小田上委員が言われた後半の分で、我々副委員長、議長含めて、全員協議会の15日までには精査して、こうこう、こうでやっていきたいと思いますということを皆さんにお伝えできればと思うんですが。よろしいですか。

小田上委員。

○小田上委員 僕は今委員長が言われたのでいいと思います。その理由の1つとして、これから深めていきたい議論、検証していきたい方向というものも委員長想定されてるところもあると思います。なので、組立てに必要なと思われるところを抽出していただければと思うので、意見は出しますので、お任せしたいと思います。

○網谷委員長 それではそういうことにさせていただきますらと思います。その質問事項のメールを月曜日でもいいんですが。

〔「私らもう今から」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 そうですか。はいじゃあ土日挟んで、月曜の昼までぐらいに入れとってもらったら、我々時間がつくときに話合ってから決めさせていただきますので、よろしくお願いします。

月曜日の昼までに、こういう質問がどうなのかなというのを各班に、当日までには分かっていますように格好にしときますので、よろしくお願いします。

北地委員。

○北地委員 結局アンケートありますよね。アンケートは取るんですよ、報告会全体の。取るんだけど、その定数に関しての部分、あれはどうされるのかなと。私としては少数の意見に固めたくないんで、できれば削除してもらいたい。

○網谷委員長 しっかり議論していただいたら。今ここで、決めます。

○北地委員 ここでは決めれない。

○網谷委員長 ちょっと難しいでしょ。その辺のところは先ほど副委員長も申されましたが、ところ関連性ございますので、このすぐ後班長会議ですね。ありますので、そこで…。

日域委員。

○日域委員 個人的なあれで。今の、少数の意見が何とかと言われましたよね。そこもう1回、説明してもらえます。

○北地委員 報告会に来られるのは市民の方のごく一部の方が来られると。そこで固められて今後の議論、その数字をもって議論されると困ると。極端に言えば、住民投票でもして、市民全体の声を聞くというんならいいんだけど、ごくごく少数の声に惑わされてはいけないというのが私の思いです。

○網谷委員長 この後すぐ班長会議があらうかと思しますので、その中で出てくると思いますので、そこでまた議論していただければと思います。班長、正副班長の方はしっかり、心構えていただいておりますと思います。

北地委員。

○北地委員 さっきの話になるんですけども、9月に結論出るけども、その後のスケジュールといいますか、条例改正に向けてのスケジュールがちょっと分かれば、どれぐらいのピッチで入るのかなと。どういう手続が要るのかなと。その辺ちょっと教えていただければと思いますけども。

○網谷委員長 条例改正ということになりますと、条例改正ということ自体がもう採決を取るということですよ。局長そういうことなんですよ。

○北地委員 上程いつ頃してどうかいう。

○網谷委員長 採決を取らなくて、委員会で、口頭で…。

○日域委員 要するに、これ条例で決まっとるわけですから、条例変えりゃあいいわけです。さっき私が言ったことは要らんことかもしれないけど、過去の例でいったら、6月議会で決めてすぐ選挙したときもあるぐらいじゃけん、理屈上は6月でも大丈夫。ただそれは極端ですから、少なくとも12、3月よねと。例えば選挙出ようと思って準備する人が影響を受けるわけですから、そう考えたらせめて、12月なら文句ないじゃろうねということですよ。せやけど、9月までに態度を決めて、ほんから12月議会に議案を出して、条例は数字を変えるだけです。それだけのことですよ。

○網谷委員長 要するに私もまだざっくりとしか考えておりませんが、いろいろな手続があらうかと思しますので、仮にですよ、仮に採決しなくてこういうことにしましょうかということになったら、改正もする必要ないですよ。逆に、現状維持で、このままいきましようということでは採決もなしに決まったとしたら、それはないということですよ、

条例改正。

局長。

○三上議会議務局長 通常、議会での条例改正等の議案の提出期限というのが、大体本会議の1カ月前ぐらいが期限となっております。今回議案、議員提案で出すということになればそれまでに議運で決定をしないといけないということになるかと思います。議運で決定するに当たっては、その前に各派代表会議を開くのかなというイメージでありますので、本会議の一月半前ぐらいには決めておかないといけないかなと思います。

○網谷委員長 ですから、最初私が言いましたのは、10月までにと言いましたよね。それがある程度余裕を持ってそういう手続を踏まえ、9月という数字を出したわけでございますので、どちらにしましてもその頃にはある程度の結果を出したいというふうに私自身は思っておりますので、皆さんも心積もりでおっていただければということでございます。

その後のいろんな手続があらうかと思しますので、そのときにまた決めましょう。

ということで、よろしゅうございますか。

日域委員。

○日域委員 この委員会がどういう権能を持ってるかといったら、改革について検討しようということで、別に決定権も何もなくて、今局長がおっしゃったとおりで、要するに、各派代表者会議で決まれば、そこで多数握ってるわけですから、それで議運諮ってやるわけで、ここはその定数のことをオープンに議論する場ですよ。影響力はあると思いますけども、ここで決めたからどうなるというものではないですよ。私の認識はそうなんですけど。

○網谷委員長 分かりました。ありがとうございました。

小中委員。

○小中委員 その見識は全く違うと思います。特別委員会は、あえてつくっている以上は、ここで、何らかの意思表示、多数決でどちらになるか知りませんが、これは重いもんです。そんな、議論するだけならこんな委員会なんか要りませんよ。あほなこと言わんといってくださいと私は言いたいです。

○網谷委員長 そんなことはありませんから、心配せんでください。

そういうことで、あんまり話がこんがらがりますので、今日はこの辺のところでよろしいでしょうか。

次回の開催を決めさせていただきます。

議会報告会が23日だったですね。明くる週に、ちょっと早いほうがよかろうと思いますんで、4月の25、27、28ですか。局長この日にちは大丈夫なんですか。それか連休明けか。報告会のすぐ後のほうが…。

局長。

○三上議会議務局長 4月25日の週は、26日が中国議長会になります。で、その次の週、5月2日の週は特に何もありません。

○網谷委員長 25か、27か、28ということですか。月曜日と、木、金、どちらにしましょうか。早いほうがよけりゃ月曜日ですが、月曜日でよろしいですか。それか、ちょっと日にちを

空けて、27日か28日、それ以降はもう連休入りますんで、議長どうですか。

〔「28のほう」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 28が、という日にちが出たんですが、連休の前の日になりますが、28でよろしいでしょうか。

それじゃあ28日の10時から、決めさせていただきます。

4月の28日木曜日10時からということで、よろしくお願いいたします。

それでは以上で議会改革特別委員会を終わらせていただきます。

お疲れさまでした。ありがとうございました。

11時19分 閉会